



# 2024年度 環境経営レポート

対象期間: 2024年1月~12月

2025年7月14日



MAZDA AUTOZAM KITAMI  
マツダオートザム北見  
株式会社 北見マツダ自動車販売

## 基本理念

株式会社北見マツダ自動車販売は自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、低公害車の販売と、先端技術に対応した整備による性能の維持で地球環境保護と豊かな社会づくりに貢献し、社業・発展に勤めます。

## 行動指針

- 1 環境に関する法規制を遵守します。
- 2 限りある資源を大切にするため、節水・節電・化石燃料の節約に努めます。
- 3 使用済み自動車の適正処理、リサイクルパーツの活動を推進します。
- 4 環境改善目標を定め、継続的な環境改善を実践し、地域と共に活動します。
- 5 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

制定日 2020年 1月 18日

株式会社 北見マツダ自動車販売  
代表取締役社長 **名和 敏信**

## 1. 事業社名及び代表者

株式会社 北見マツダ自動車販売

代表取締役社長 名和 敏信

## 2. 所在地

北海道北見市緑ヶ丘5丁目6番15号

## 3. 事業内容

マツダブランドの新車販売

新車・中古自動車販売

自動車整備業(車検・点検・修理等)

部品・用品・タイヤ等の販売

損害保険代理店業務



## 4. 事業規模

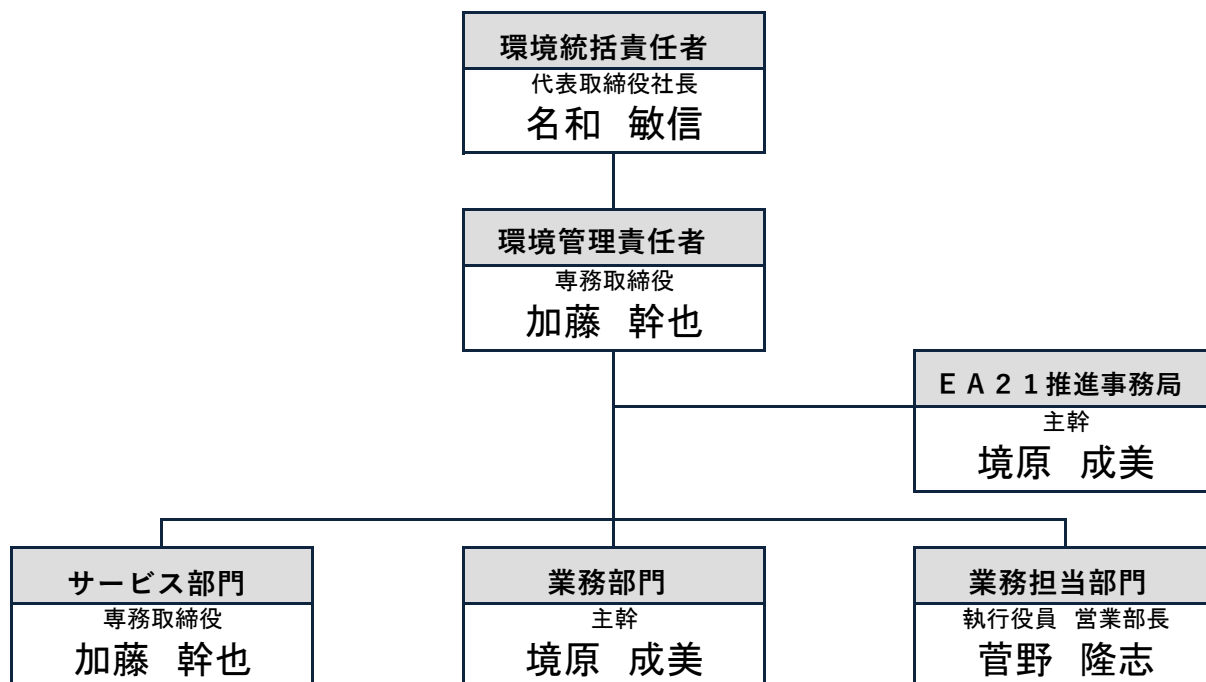
従業員数	11人	(2024年12月現在)
年間売上高	425,788千円	(2024年12月期)
年間販売台数	216台	(2024年12月期)
年間整備入庫台数	2,834台	(2024年12月期)

## 5. 環境管理責任者及び担当者と連絡先

環境管理責任者	専務取締役	加藤 幹也
EA21環境推進事務局	主幹	境原 成美
連絡先	代表 TEL 0157-25-1444	

## 6. 認証登録の範囲

全組織及び全事業



担当者	役割
環境統括責任者 〈社長〉	環境マネジメントシステム（以下EMS）に関する統括責任者 ・EMSの実施及び運用に必要な人、設備、費用、時間を用意 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 〈役員・業務・サービス部門長〉	実務上の責任者として、環境取組を推進する （※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲） ・EMSの構築、実施、管理 ・環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として環境取組を推進する ・環境取組の指導、支援 ・環境データの集計、取りまとめ
部門長	環境取り組みを推進する ・担当部門の環境取り組みの責任者

項目		単位	2023年度 基準年度	目標		
				2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	70,897	70,188	70,188	70,188
削減率				灯油とLPガス使用量も合算している		
電力使用量		kWh	24,514	24,268	24,268	24,268
削減率				△ 1%	△ 1%	△ 1%
化石燃料	ガソリン使用量	L	6,283	6,220	6,220	6,220
	削減率			△ 1%	△ 1%	△ 1%
	軽油使用量	L	6,704	6,636	6,636	6,636
	削減率			△ 1%	△ 1%	△ 1%
水使用量		m <sup>3</sup>	296	—	—	—
削減率				維持	維持	維持
パッケdeメンテ		台	43	43	43	43
増加率				2%	2%	2%
グリーン購入		%	100	100	100	100
増加率				維持	維持	維持
エコカー販売		台	149	153	153	153
増加率				3%	3%	3%

※二酸化炭素排出係数は2023年度 北海道電力の0.532kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用しています

二酸化炭素排出量の目標値は灯油、LPガス使用量(2024年度維持値)を合算しています

※産業廃棄物は業務量により排出量が変わること、及び灯油使用量は冬期間の天候に大きく

影響を受けるため、環境活動を実施することのみとし、使用量削減は環境目標には設定せず維持管理としモニタリングを実施します

※LPガスは使用量が少ないため、削減目標を設定せず維持管理としてモニタリングを実施します

※水使用量は、売上の増加に比例するため、維持管理としてモニタリングを実施します

※化学物質は使用していません

## 1. 二酸化炭素排出量の削減

### ①電力使用量の削減(全部門で実施)

- ・メジャーサインの点灯、消灯設定の確認
- ・不要な照明の消灯確認
- ・エアコンの温度設定の確認

### ②ガソリン、軽油使用量の削減(全部門で実施)

- ・エコドライブの啓発
- ・タイヤの空気圧、不要な荷物チェック
- ・代車貸出時の燃料チェック

### ③灯油使用量の削減(維持管理)(全部門で実施)

- ・冬期間の室温を22℃で維持

## 2. 水使用量の削減

- ・水道メーターの確認記録(業務部門で実施)
- ・節水の掲示を各水道口に貼り節水活動の推進(業務部門で実施)

## 3. 産業廃棄物排出量の削減(維持管理)

- ・廃棄物分別の徹底(サービス部門で実施)

## 4. 環境に配慮した自動車の整備・部品販売

- ・パックdeメンテ加入促進(業務担当部門で実施)
- ・エコ商品の提案(業務担当部門で実施)

## 5. 環境に配慮した製品の購入

- ・エコマーク商品、グリーン購入法適合商品の購入(業務部門で実施)

## 6. 環境に配慮した自動車の販売

- ・エコカー販売促進(業務担当部門で実施)

6車種を比較してピッタリな一台を見つけよう

## MAZDA SUV LINEUP

CX-3



CX-30



MX-30



CX-5



CX-60



CX-80





# 環境活動の取組結果の評価



## 1、2024年1月～12月 運用期間の実績 目標達成状況

項 目		単位	2024年目標 1～12月	2024年実績 1～12月	目標 達成率	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	70,188	68,871	101%	○
電力使用量		kWh	24,268	23,437	103%	○
化石 燃料	ガソリン使用量	L	6,283	3,969	158%	○
	軽油使用量	L	6,704	6,976	96%	×
	灯油使用量	L	( 5,441 ) 2023年実績値	6,828	—	—
	LPガス使用量	kg	( 336 ) 2023年実績値	298	—	—
産業廃棄物排出量		kg	( 2,200 ) 2023年実績値	955	—	—
水使用量		m <sup>3</sup>	( 296 ) 2023年実績値	245	—	—
パックdeメンテ		台	43	23	53%	×
グリーン購入量		%	100	100	100%	○
エコカー販売台数		台	156	140	89%	×

※二酸化炭素排出係数は 2023年度 北海道電力の 0.532 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用しています

## 2、取組結果の評価と次年度の取り組み 達成：○、未達成：×、前年と同じ(±0.5%以内)：△

二酸化炭素排出量の削減 ○ 2024年度目標対比 1%削減	エネルギー使用量は全て削減された
次年度取組内容	引き続き削減を目指す
電気使用量の削減 ○ 2024年度目標対比 3%削減	1～4月以外は若干ではあるが削減することができた
次年度取組内容	引き続き削減に努める
化石燃料の削減 ○ 2024年度目標対比 18%削減	軽油・灯油の使用量は増加しているが、ガソリン使用量の大幅な削減により 平均で目標達成することができた
次年度取組内容	引き続き目標達成を目指す
パックdeメンテの増加 ×	販売・車検入庫時に加入促進に努めたが、目標は達成できなかった
次年度取組内容	継続加入と新規加入に努める
グリーン購入の増加 ○ 2024年度目標対比 100%	購入品すべて、グリーン購入を実施している。
次年度取組内容	引き続きグリーン購入を進める。
エコカー販売の増加 ×	新車の販売台数減少により、エコカー販売も減少した
次年度取組内容	引き続き販売に努める

項 目		単位	2023年度 基準年度	環境目標	環境活動計画
二酸化炭素排出量		kg-CO <sub>2</sub>	70,897	70,188	電力・化石燃料の削減地等の合計・環境活動計画を実施することで削減
削減率				△ 1%	
電力使用量		kWh	24,514	24,268	メジャーサイン点灯・消灯の確認・不要な照明の消灯確認・エアコンの温度設定の確認
削減率				△ 1%	
化石燃料	ガソリン使用量	L	6,283	6,220	エコドライブの啓発・タイヤ空気圧・不要な荷物チェック・代車貸出し時の燃料チェック
	削減率			△ 1%	
	軽油使用量	L	6,704	6,636	
	削減率			△ 1%	
	灯油使用量	L	6,828	維持管理	冬期間の室温を22℃で維持
	維持管理			モニタリング	
	LPガス使用量	kg	336	維持管理	給湯器と事務所の一部暖房に使用
	維持管理			モニタリング	
水使用量		m <sup>3</sup>	296	維持管理	水道メーター確認記録・節水の掲示・節水活動の推進
削減率				モニタリング	
産業廃棄物排出		kg	2,200	維持管理	産業廃棄物分別の徹底・事業系一般分別とリサイクルの徹底
維持管理				モニタリング	
パックdeメンテ		台	43	43	パックdeメンテ加入促進・エコ商品の提案
増加率				2%	
グリーン購入		%	100	100	エコマーク商品、グリーン購入法適合商品の購入
100%実施				継続	
エコカー販売		台	149	153	エコカー販売促進
増加率				2%	

※二酸化炭素排出係数は 2023年度 北海道電力の 0.532kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用しています

二酸化炭素排出量の目標は灯油、LPガス使用量(2020年度維持値)を合算しています

※産業廃棄物は業務量により排出量が変わること、及び灯油使用量は冬期間の天候に大きく

影響を受けるため、環境活動を実施することのみとし、使用量削減は環境目標には設定せず維持管理としモニタリングを実施します

※LPガス使用量は給湯と一部暖房のみで少量のため、使用量削減は環境目標には設定せず維持管理とします

※事業系一般廃棄物は、紙類の排出のみであり、業務量により排出量が変わることと、全てリサイクルとして処理しているので、環境目標には設定せず維持管理とします

※水使用量は、売上の増加に比例するため、維持管理とします



## 1、環境関連法規

環境関連法規	要 求 事 項	評 価
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	○
騒音規制法	特定施設の届出	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	○
消防法 危険物の規制に 関する政令	少量危険物(貯蔵取扱所設置)の届出	○
家電リサイクル法	対象家電排出時の適正処理	—
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検	○

※ 遵法：○ 該当無し：— 遵守できず：×

## 2、違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反・訴訟は1件も発生しておりません。

また、行政機関などからの環境関連の指摘も受けておりません。

## 代表者による全体の評価と見直し結果

二酸化炭素等、電力、化石燃料など削減目標は達成できたのですが、パックデメンテ、エコカー販売台数が良くありませんでした。車輛販売台数の減少もありますが、目標達成できるように頑張りたいです。

水使用量については、削減目標を決めず維持管理とすることにしましたが、引き続き使用量の削減は努力していこうと思います。

その他、環境方針、環境活動計画、経営システムに変更はありません。